

MISC meets. EXILIM MISC 4th Anniversary by イマミライプロジェクト

インテリア・ファッショ・アートのイマとミライを繋げるトークショーが展開。

各界の今を活躍する人達と、未来を担う若者達が出会った。

”イマミライプロジェクト”写真展 レセプションパーティー！！



「イマミライプロジェクトは、「現在(今)と未来を繋げる」をテーマに街、特にストリートを中心に人、ショップ、企業、学校など人と人の繋がりを大切にしていこうというプロジェクト。<http://www.facebook.com/imamirai.project>

今回は、目黒にある数多いインテリアショップの集合体“MISC”と“CASIO EXILIM”が数多くのスペシャリストを世に送り出してきたインテリアデザイン専門学校のICSカレッジオブアーツの校舎にて、目黒の街やショップ・スタッフなどを撮りおろした写真展を11月26日(土)・27日(日)に開催いたしました。

前日の11月25日(金)には、クリエーターの発信基地として注目されている目黒の街で育ったクリエイター達が「イマとミライを繋ぐ」をテーマにトークショーを実施。

その他にも、ICSカレッジオブアーツの在校生と現在活躍しているデザイナーとのトークセッションや新世代ラッパーの最先端で圧倒的なスキルでフリースタイルの貴公子とも称される「KEN THE 390」のイマミライステージなどもあり、イマとミライが感じられるパーティーとなりました。

会場には今回参加したクリエイターやMISC店舗の人達が撮った写真がプリントされたTシャツがずらり。

隣接されているPCルームでは、MISC各店舗が撮りおさめたここでしか見ることができない写真がデジタル写真展として写し出されており、目黒の街で育む「インテリア」「写真」「アート」「ファッショ・」「ライフスタイル」を表現していました。

オフィシャルWEBサイト:<http://casio.jp/dc/sp/misc/>

【カシオデザインセンター 長山洋介×ICSカレッジオブアーツ副校長 Manuel Tardits × ICS在校生】

数々のEXILIMを手がけてきたカシオデザイナーの長山氏。これからミライを創っていくICS在校生からは質問が飛び交いました。また、タルヴィツ氏とはイマを牽引する二人ならではの、熱いトークを聞くことができました。

【ファッショ・デザイナー SHINICHIRO ARAKAWA × フォトグラファー MAMY × ブランドディレクター 月本えり】

各界のイマを活躍する人達からは、それぞれが感じるEXILIMトークを展開。目黒の写真を交え、目黒や東京のミライを表現。

【グラフィックデザイナー 芥陽子 × アクリル職人/デザイナー 俵藤ひでと(ICS卒業生)】

目黒出身の両デザイナーからは、デザイナーとしてのミライが強く感じられるトークを展開。第一線で活躍する二人ならではの、デザイントークを楽しむことができました。

また、目黒区は気仙沼市と平成8年の住民同士のイベント交流をきっかけとして、「目黒のさんま祭」における、さんまの提供や中学生の自然体験ツアなどの交流を行っている。11月26・27日は同会場にて、「Meguro Interior Collection 2011」を実施し、その中で気仙沼被災者を支援する企画なども展開。

「現在(今)と未来を繋げる」をテーマに広がるコミュニケーション。次代のアートやデザインマーケットのムーブメントを予感させる、MISC加盟店舗でのアートライフスタイルが一堂に会するリアルなアートシーンが目黒で実現された。

【本件への取材・お問い合わせ】

PA Communication / ifca Showroom Tel:03-5464-7365 Fax:03-3797-7850
PR Produce齊山陽子(saiyama@pa-c.co.jp) 田中康太(tanaka@pa-c.co.jp)・半澤明・渡邊祐子

【イマミライプロジェクト賛同&レセプション参加メンバー】

グラフィックデザイナー 芥 陽子

長崎市生まれ。桑沢デザイン研究所夜間部に在学中に廣告デザイン、卒業後にアパレル雑貨の企画デザインを経て1999年コズブッシュに入社、
2006年5月に独立、note(ノート)を設立。
2006年度と2010年度TDCブックデザイン部門入選。現在の仕事はブックデザインを中心に、廣告、雑貨、パッケージデザイン、店舗ディスプレイなど。



ブランドディレクター/DJ 月本えり

集英社『SEVENTEEN』モデルを経験後、活動休止を経て3年前から、女性誌読者モデルとして活躍。講談社よりviviムック本『読ものせに』、妄想『読モーサツ』を上梓。TBS『女神サーチ』にレギュラー出演、アーティストブランド「BAPY(r)reprise」等のブランドディレクター業といった、ファッションの第一線での活躍と共に、DJとしてもその活動の場を広げ続けている。

10代より傾倒していたニュースクールヒップホップ～ブラックミュージックをバックボーンとした現在進行形の重低音サウンドをメインとした選曲と、見た目とは裏腹のメンズライクなパフォーマンスを特徴とする彼女独特的DJスタイルが国内外のクラブを虜にしている。



アクリルデザイナー 俵藤ひでと

職人／デザイナー／作家／
NPO 法人現代手工業乃党
(MODERNMANUFACTURERS' PARTY) 設立メンバー・理事／多摩美術大学環境デザイン科特別講師

アクリル加工を中心にプロダクトからアートピースまで製作する現代手工業家。
ICS カレッジオブアーツ卒業。



演出家 渡辺 裕二

岩手県生まれ・山梨県で育つ。
武蔵野美術大学空間演出デザイン学科、
ファッションデザイン専攻卒
ステージ・空間演出をイベント制作会社で学び、
1996年に独立。
現在、ブリースの代表として、
イベント演出、空間デザイン、大型映像の制作等を中心に活動しています。



ファッションデザイナー SHINICHIRO ARAKAWA/荒川 真一郎

1989年：渡仏、91年渡英、92年よりParis服飾専門学校「スタジオベルソー」卒業
1993年：「SHINICHIRO ARAKAWA」を設立、Parisを拠点に活動を開始
1996年：Paris・マレ地区にてオンラインショップをオープン
1997年：フランス文化省「ANDAM」コンクールで金賞受賞、HONDAとのコラボレーションコレクションを発表
2000年：日本ファッション大賞「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」金賞受賞
2002年：HONDAレーシングチーム「HRC」公式ユニフォームをデザイン
2008年：Motorcycle wear
【SHINICHIRO ARAKAWA ②】の活動開始



<http://www.0cm4.co.jp>

アーティスト KEN THE 390

新世代ラッパーの最先端を走り、圧倒的なスキルとスタイルが際立つ。貴公子とも称されるKEN THE 390。硬軟どちらのスタイルも、誰もが認めるラップの技術で乗りこなす。ラッパーとしての活動はもちろん、主催ライブ「超・ライブへの道」は企画からコーディネートまで自ら行い、avex主催のUSTREAM番組「U-Strip」のパーソナリティーや、Facebookにて自身主催のラッパーオーディション企画「What's Generation」をスタートさせたり、マルチな才能を発揮している。



フォトグラファー MAMY(間宮 奈津子)

文化服装学院スタイル科卒業。
スタイリストのアシスタントを経て独立。ファッション誌を中心に活動をする。その後、「STREET編集室」に入社。雑誌「STREET」のカメラマンとしてLondonへ渡英。帰国後は副編集長兼カメラマンとして「FRUITS」、「TUNE」の撮影＆副編集を兼任しつつ、NY Collection、ParisCollection、Londonへも定期的に撮影へ。
現在は、「FRUITS」や「TUNE」、WEBサイトのストリートスナップを中心に活動しつつ、『WonderLand』というWEBサイトを立ち上げ、カメラマン、ライター、ディレクターなど国内外問わずマルチに活動中。



<http://www.mamyswonderland.com>

～イマミライプロジェクト賛同機関～



イマミライプロジェクト(IMAMIRAI project) <http://www.facebook.com/imamirai.project>

「現在(今)と未来を繋げる」をテーマに街、特にストリートを中心に人、ショップ、企業、学校など人と人の繋がりを未来にコミュニケーションで繋げていくプロジェクト。



MISC <http://misc.co.jp/>

MISCは英語のMiscellaneousに由来。

そのMiscellaneousなショップは、50's、60'sのカジュアルなアメリカン家具やミッドセンチュリーのイームス家具、イギリス、フランスのクラシックなアンティーク家具、デンマークなどの北欧家具、パイン系のナチュラル家具、本格的なオーダー家具、オーダーソファ、キッチンなどを扱うインテリアショップや、オリジナル、セレクト雑貨を扱うショップ、こだわりのケーキやクッキー、紅茶、コーヒーを出すカフェ、センシティブな絵画を扱うギャラリー、クオリティのあるファブリックなど扱うカーテン、ソファ張地専門店。ショップユースから個人ユースまで幅広く対応できるまさにMiscellaneousなこだわりを持った独自のテイストを発信するショップの集合体がMISCです。

ロゴマークは著名なグラフィックデザイナーの佐藤卓さんに目黒(目利き)の目の字をモチーフにデザイン。



ICSカレッジオブアーツ <http://www.ics.ac.jp/>

インテリアデザイン・コーディネーターの専門学校

ICSカレッジオブアーツは日本で最初に、唯一のインテリアデザイン専門学校として1963年に創設された、インテリアスペシャリスト養成の教育機関です。英国国立ノッティンガムトrent大学との提携により、学士になれるインテリアスクール。世界で通用するインテリアデザイナー、インテリアデコレーター、インテリアコーディネーター、インテリアマイスターを多数輩出。



インテリア カフェ コトー (interior cafe COTO) <http://cafe-coto.com>



シェフは数多くの著名人が集う有名イタリアンレストラン。キャンティの料理長を努めた古本吉倫。光と風が通り抜ける上質なインテリア空間で、お客様がご招待した方々のためにシェフ古本吉倫が本格イタリア料理の腕をふるいます。ご友人を招いての貸切パーティーやレストランウェディング、イベント、同窓会、ホームパーティーなどご利用は思いのまま。皆様に素敵な空間と本格イタリア料理をご提供いたします。



CASIO EXILIM <http://casio.jp/dc/>

これまでになかった価値を創出し、コンパクトボディに高性能を凝縮したデジタルカメラ CASIO EXILIM(エクシリム)。本年発売されたEXILIM TR100は、可変フレームデザインを採用し、自由な撮影スタイルで撮る楽しさを実現したモデル。造形と機能を斬新でユニークな方法で両立させた製品に贈られるTIPA「最優秀デザイン賞」の欧州での受賞をはじめ、世界各地でデザイン賞を受賞した。



PA Communication (ifca showroom) <http://www.pa-c.co.jp/>

戦略PRの考えに基づきPR活動のみならず、ブランド商品企画、メディアバイイング、イベントやキャンペーンなどのリアルとWEBなどのバーチャルプロモーション、インフルエンサーマーケティングなどコミュニケーション全般を企画から実施までトータルにこなすプロデュース集団。本案件でも、立案～実施、コミュニケーションと連携したPR活動をサポート。